

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより



第259号 2025年12月号

開館時間: 午前9時~午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

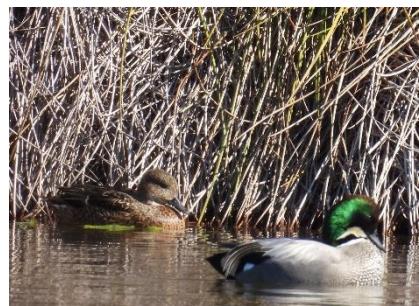


冬になりました。桶ヶ谷沼は渡り鳥でにぎわってきました。

12月になりました。桶ヶ谷沼や鶴ヶ池の水面には、マガモなどの渡り鳥の数が日に日に増えてきています。例年多く見られるのはマガモとヨシガモ、カルガモですが、昨年度はトモエガモが例年以上に多く飛来し、桶ヶ谷沼を訪れる方々を楽しませてくれました。

カモなどの渡り鳥は、極東ロシアから越冬のために日本にやってきて、春になるとロシアに戻り、産卵し子どもを育てます。繁殖期のオスは色鮮やかです。

水面を優雅に泳ぐ渡り鳥の姿をご覧に、桶ヶ谷沼や鶴ヶ池においてください。



マガモ

左:メス 右:オス
オスの頭部は金属光沢のある緑色。胴体は遠目には白っぽく見える。

コガモ

左:メス 右:オス
マガモより一回り小さい。
オスの頭部の上半分は金属光沢のある暗い緑色。

ヨシガモ

左:メス 右:オス
オスの頭部はナポレオンハットを縦にかぶったような模様。



トモエガモ

左:メス 右:オス
オスの顔が、黒・緑・黄・白が組み合わさって巴模様に見える。

オシドリ

左:オス 右:メス
オスは体全体的に美しく鮮やかな色と模様をしている。

カルガモ

オス・メスとも似た色や模様をしているため区別が難しい。本州以南では「渡り」をしない留鳥。

ことし 今年はハクチョウは来るかな？

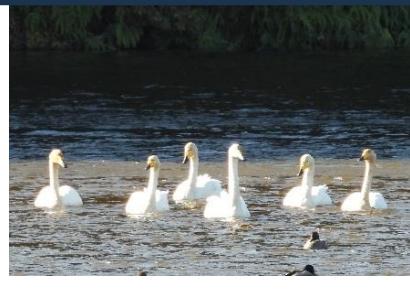
のこ
残っている記録では、鶴ヶ池や桶ヶ谷沼でハクチョウの飛来が初めて確認されたのは昭和35年で、その後平成17年からは毎年コハクチョウやオオハクチョウが数羽やってきて「冬の使者」としてここを訪れる方々を楽しませてくれていました。しかし、残念ながらなぜか昨年度はやってきませんでした。今年こそ姿を見られるといいですね。

例年11月から12月にやってくることが多いです。
これまでのハクチョウの写真を紹介します。

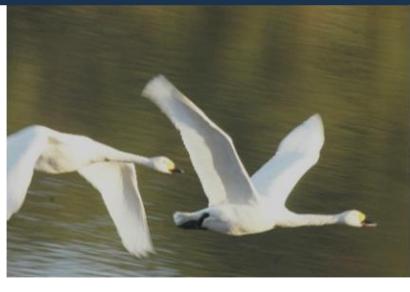
オオハクチョウ：コハクチョウより少し大きく、くちばしの黄色の部分の面積が大きい。



成鳥(2020年11月)



親子で泳ぐ(2022年12月)



飛ぶ姿(2019年12月)

コハクチョウ：オオハクチョウより少し小さく、くちばしの黄色の部分の面積が狭い。



成鳥(2022年11月)



親子で泳ぐ(2021年11月)



親子で飛ぶ(2021年11月)

鶴ヶ池北駐車場の北に桐の木を植えました



植樹祭開会式のようす



40cmほどの苗を植えた



植樹完了、成長が楽しみ

10月28日に「日本菌根菌財団」と「中部電力」「堀内土木」「磐田市役所」の各職員・社員他が協力して、鶴ヶ池北駐車場の北にあった元茶畠のところに桐の木を植えました。今回植えた桐の木は早成桐といい、成長が早く植えてから5～6年で木材として商品化が可能です。また、光合成が盛んにおこなわれ二酸化炭素を多く吸収し地球温暖化対策や持続可能な社会の実現にも貢献できる植物だといわれています。当日は、磐田市長も参加してくださいり、総勢30人余が協力して手際よく植樹作業を進め、開始からおよそ1時間程度で、100本以上の苗の植樹を完了しました。今後の成長が楽しみです。